

26. 形容詞の名詞的用法

1. 男性・女性・複数形は「男・女・人々」 中性形は「もの・ことがら」

形容詞は頭文字を大文字にして性数格の変化をさせれば、名詞としても使うことができます。男性・女性・複数形はその形容詞の性質を持った「男・女・人々」をあらわし、中性形は「もの」や「ことがら」をあらわします。これを形容詞の名詞的用法あるいは名詞化といいます。

der Große	(m. 1)	<i>the tall man</i>
die Schöne	(f. 1)	<i>the beautiful woman</i>
die Reichen	(pl. 1)	<i>the rich people</i>
das Gute	(n. 1)	<i>the goodness</i>

この場合はそれぞれの形容詞のあとの名詞が省略されている、と考えることができます。

der große Mann	der Große	<i>the tall man</i>
die schöne Frau	die Schöne	<i>the beautiful woman</i>
die reichen Leute	die Reichen	<i>the rich people</i>
das gute Ding	das Gute	<i>the good thing</i>

したがって形容詞のあとにつける語尾は付加語的用法の語尾と同じで、さらに名詞であることを示すために形容詞は大文字で始めます。

	m.	f.	pl.	n.
	「背の高い男」	「美しい女」	「金持ちの人々」	「善」
1格	der Große	die Schöne	die Reichen	das Gute
2格	des Großen	der Schönen	der Reichen	des Guten
3格	dem Großen	der Schönen	den Reichen	dem Guten
4格	den Großen	die Schöne	die Reichen	das Gute
				「何か新しいもの」
1格	ein Großer	eine Schöne	Reiche	etwas Neues
2格	eines Großen	einer Schönen	Reicher	(2格はもちいない)
3格	einem Großen	einer Schönen	Reichen	etwas Neuem
4格	einen Großen	eine Schöne	Reiche	etwas Neues

2. 中性形の前におかれるもの

中性形は、無冠詞(強変化)で *etwas (anything, something)*, *nichts (nothing)* 等の代名詞を前においてもちいると「何か…のもの」「何も…でないもの」の意味になります。

3. 辞書での表記

辞書には日常的によく名詞的用法でもちいられる一部の形容詞は見出語としてある場合もあります。

krank (形容詞)	病気の	Kranke[r] (m., f.)	病人、患者
-------------	-----	--------------------	-------

しかしほとんどの形容詞は約束として名詞的用法でもちいられますからいちいちその名詞的用法は表記してないため、例えば *der Reiche* という単語を見たら *reich* という形容詞を調べ、その形容詞から「金持ちの男」という名詞の意味を考えなくてはなりません。